

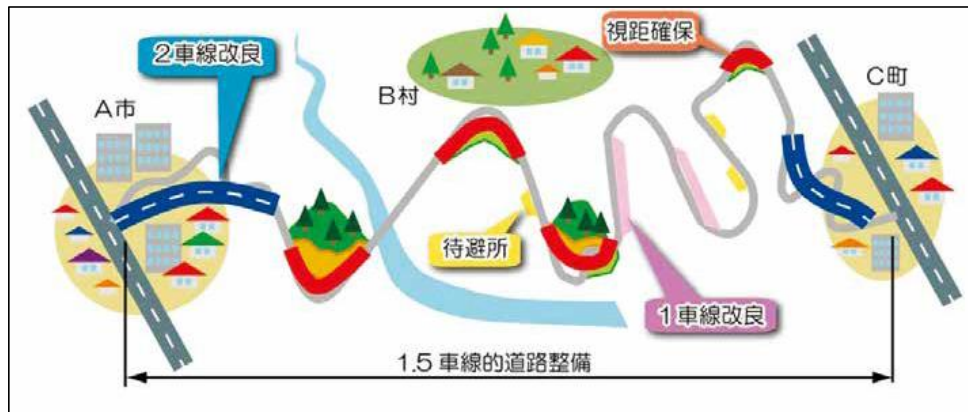


1.5車線の道路整備

1.5車線の道路整備とは、極力現道を活かしつつ、局部改良や連続改良を組み合わせながら、必要最低限の通行機能を確保する、地域にとって真に必要な道路を地域の実情に合わせて整備する手法の一つです。限られた予算内で、効率的かつ効果的な道路整備を早期に行うことが可能です。

新潟県では1.5車線の道路整備を行うためのガイドラインを平成19年3月に作成しました。地域の皆さんの様々なニーズを考慮しながら、それぞれの地域に適した道路の整備を行っていきます。

1.5車線の道路整備のイメージ



施工事例

1車線道路の路肩幅を広げ車両同士のすれ違いができる道路となりました。



待避所の整備により、ドライバー同士のゆずりあいでのすれ違いができる道路となりました。



交通安全対策

新潟県の交通事故発生状況は、発生件数、死者数、負傷者数ともに減少傾向にあるものの、歩行者の関係した事故件数が全事故件数に占める割合は増加傾向にあります。

新潟県では、安全な歩行空間を確保するとともに、防護柵、区画線、道路標識、道路情報提供装置などの道路安全施設を整備し、誰もが安心して快適に利用できる道路交通環境の整備を推進しています。

また、通学路における交通安全の確保については、平成24年の事故等を受けて実施した緊急合同点検や各市町村における推進体制(通学路交通安全プログラム)により、道路管理者、教育委員会、警察が連携し、継続的な取り組みを推進してきましたが、令和3年6月に千葉県八街市において見通しの良い直線道路の通学路で下校中の児童の列にトラックが衝突し5名が死傷する事故が発生したことから、合同点検を実施し、点検結果に基づき早期に交通安全を確保する取り組みを実施しています。

歩道の整備

未就学児や児童の安全確保を最優先に取り組むため、「交通安全施設等整備事業の推進に関する法律」に基づく通学路、県内全市町村で策定済みの「通学路交通安全プログラム」の二つの柱に基づいて、通学路を中心に歩行空間の整備を行っています。



一般国道291号(南魚沼市)



一般国道117号(十日町市)

道路情報の提供

安全で円滑な道路交通を確保するために、適切な道路情報をドライバーへ提供します。



主要地方道佐渡一周線
(佐渡市)